

日本産業衛生学会東北地方会ニュース

みちのく

No.69

5/22

2023

発行/令和5年5月22日・発行所/日本産業衛生学会東北地方会事務局

住所/〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1 (東北大学大学院医学系研究科産業医学分野内)

電話/022-717-7874・FAX/022-717-7883・e-mail/sanei-michinoku@doh.med.tohoku.ac.jp・発行人/黒澤 一

第82回日本産業衛生学会東北地方会開催のご挨拶

第82回 日本産業衛生学会東地方会 学会長
福島県立医科大学 医学部 衛生学・予防医学講座
教授 福島哲仁

第82回日本産業衛生学会東北地方会が福島の地で開催されるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。本学会は、日本産業衛生学会の東北地方会として今回で82回目を迎えます。これまで長年積み上げてきた本学会の成果を引き継ぎ、さらに発展させることができるように準備を進めてまいりたいと考えております。このたびの学会のメインテーマを、「振り返りから前を向く産業保健～困難から導かれる新たな健康戦略」とさせていただきました。東北地方では、2011年に東日本大震災が発生しました。この地震は、福島第一原子力発電所事故へとつながり、福島県の復興に長く大きな影響を残しています。その後も地震や豪雨など度重なる自然災害に見舞われてきました。そのたびに復興が繰り返されてきたのですが、中小零細企業が多くを占める東北地方にあって復興は容易ではなく、復興の名のもとに従業員の健康と安全が後回しにされてしまうことも危惧されています。さらに追い打ちをかけるかのように、新型コロナウイルス感染症流行という社会的災害にも見舞われ、産業保健も大きな岐路に立っていると言えます。この危機に際し、困難から新たな健康戦略を導き出そうとする動きも始まっています。事業所見学は、福島県伊達市梁川町にあります阿武隈急行株式会社で実施する予定です。東日本大震災、その後二度にわたる大地震、さらに豪雨災害にも見舞われながら復興を成し遂げてきた軌跡をたどりながら、災害時、その後の復興時における産業保健について実地で研修を計画しております。阿武隈急行株式会社へは、福島駅から阿武隈急行の電車に乗って向かいます。実際の業務を見ていただくところから見学はスタートいたします。特別講演には、福島第一原子力発電所事故による放射線災害に対する福島県民の不安に応えるため、長年福島県立医科大学で県民の心のケアにあたって来られた福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座主任教授の前田正治先生に、「災害と支援者危機：原発災害後の被災自治体職員のメンタルヘルスを考える」と題してお話いただく予定です。多くの皆様

に一般演題にもご登録いただき、ご参加いただければと思っております。産業衛生学の研究と実践の討論を通じて、皆様にとって有意義な交流が行われることを期待しております。懇親会は、グランパークホテルエクセル福島恵比寿を会場に開催予定です。こちらもお楽しみに。

本学会は、社団法人福島県医師会と共催で開催いたします。福島労働局並びに福島県産業保健総合支援センターにご後援をいただきました。また、公益財団法人福島県労働保健センター、一般社団法人福島県労働基準協会よりご協賛を賜りました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。それでは、皆様と福島の地でお会いできますのを楽しみにしております。

第 82 回 日本産業衛生学会東北地方会開催要項(第 2 報)

メインテーマ：「振り返りから前を向く産業保健 ～困難から導かれる新たな健康戦略」

1. 会期：2023 年 7 月 21 日(金)～22 日(土)
2. 会場：コラッセふくしま (福島県福島市三河南町 1 番 20 号)
3. 開催形式：現地参加を基本としますが、一般口演、特別講演など一部の企画を web で同時配信します。
4. 参加申し込み：下記 URL もしくは末尾の QR コードより申し込みをお願いします。電話や FAX での申し込みはできません。
URL：<https://forms.gle/Bsg5vtfonSf4r7Sp8>
5. 参加費：2000 円
参加申し込みにて、オンラインによる参加を希望された方に対して、会費納入方法をご案内します。会費納入を確認できた方に対して、開催日までにオンライン参加方法をお送りします。現地参加の方は、会場にて直接お支払いください。
6. 内容
 - 1) 事業所見学：7 月 21 日(金) *要事前申込
阿武隈急行株式会社(福島県伊達市梁川町字五反田 100 番地 1)
阿武隈急行福島駅 13:30 発の電車にて移動します(現地集合はできません。必ず時間までにお集まりください)。
事業所見学参加費として、学会参加費とは別に 2000 円頂きます。
 - 2) 一般口演：7 月 22 日(土) 9:30～12:00(多目的ホール)
 - 一般演題を募集します。6 月 16 日までに、演題、演者名、所属、本文を含む Word

形式、A4 1 ページの抄録原稿を E-mail で事務局までお送りください。

- ※事務局ホームページに、抄録原稿の要件やテンプレートを掲載しておりますので、ご使用ください。提出いただいた抄録原稿につきまして、細かな書式等を事務局の方で修正する場合がございます。あらかじめご承知おきください。
- 学会誌掲載用の抄録(400 字以内)も演題と同時に提出してください。
- 当日はパワーポイントを用いての発表となります。

3) 役員会：7月22日(土) 12:05~12:55(小会議室 401)

4) 総会：7月22日(土) 13:00~13:20(多目的ホール)

5) 特別講演：7月22日(土) 13:30~15:00(多目的ホール)

演題：災害と支援者危機：原発災害後の被災自治体職員のメンタルヘルスを考える

演者：前田正治(福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座・主任教授)

6) 各部会行事：7月22日(土) 15:10~16:40

産業医協議会(多目的ホール)

講演：産業保健の視点からみたアディクションの課題と予防

講師：神田秀幸(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 公衆衛生学 教授)

産業保健看護のつどい(小会議室 401)

講演：誰もが働きやすい職場の実現に向けて~LGBT についての理解を深める~

講師：梅宮れいか(福島学院大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻 教授)

産業衛生技術部会(小会議室 402A)

話題提供：喫煙開始予防教育

提供者：近嵐修一(DNP テクノパック)

産業歯科保健部会研修(公開セミナー)(小会議室 402B)

講演：企業歯科健診における歯科衛生士の活動

講師：伊藤瑠美(歯科衛生士、青森県立保健大学客員研究員)

7) 懇親会：7月21日(金) 18:30~

会場：グランパークホテルエクセル福島恵比寿(福島県福島市曾根田町 10-6)

会費：6000 円(現地にて支払い)

7. 単位について

日本医師会産業医学研修会(生涯研修)として、現地受講の場合のみ、事業所見学(実地 2 単位)、特別講演(専門 1.5 単位)、産業医協議会(専門 1.5 単位)が取得できます。

事業所見学、特別講演、産業保健看護のつどいについて、産業保健看護専門家制度単位を申請中です。

事務局：〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

福島県立医科大学 医学部 衛生学・予防医学講座

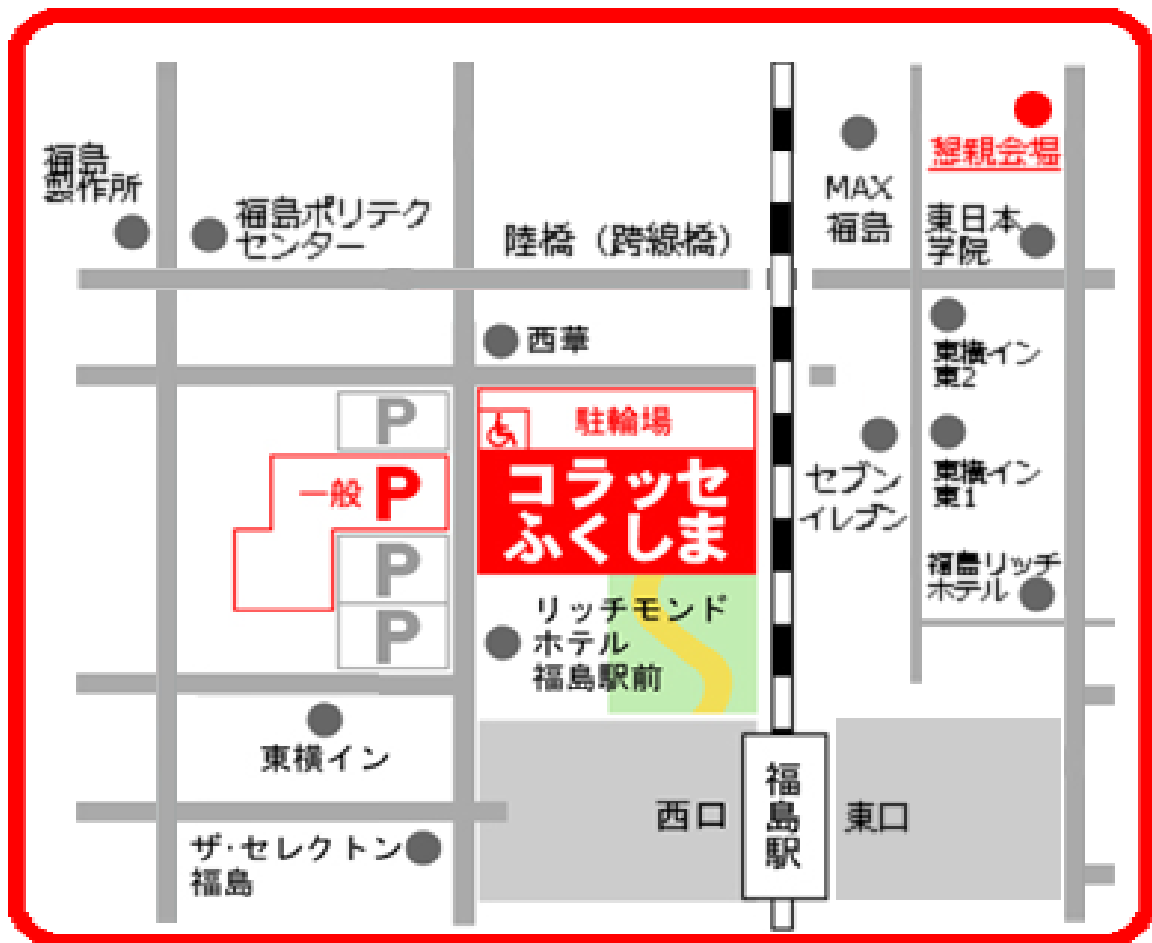
第82回日本産業衛生学会東北地方会事務局

Tel & Fax：024-547-1174

HP：<https://www.fmu.ac.jp/home/hygiene/index.html/>

E-mail：tohoku82@fmu.ac.jp

参加申し込み用QRコード



会場案内図

産業医部会**東北地方産業医部会新体制の報告および産業医協議会について**

医療法人健友会 本間病院

菅原 保

福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座

各務竹康

東北地方会の産業医部会は、全国部会の幹事として2名の他、各県より担当幹事を選出し、情報交換および地方会の運営を行っております。長年幹事を担っていた方々がこの数年で引退され、後任の選出が滞って折りましたが、皆様のご協力により、体制の整備を行うことができました。

新しい体制は、青森県：石澤誠先生(医療法人聖誠会石沢内科胃腸科)、秋田県：鈴木明文先生(秋田県立病院機構)、岩手県：茂木隆先生((公財)岩手県予防医学協会)、宮城県：清治邦章先生(花京院健康管理センター)、山形県：菅原保(医療法人健友会本間病院)、福島県：各務竹康(福島県立医科大学衛生学・予防医学講座)の6名となります。全国幹事は前期に引き続き、菅原、各務で務めさせていただきます。今後とも、よろしくお願いいたします。

産業医部会では、年1回地方会学会開催時に部会企画として産業医協議会を開催しております。今年度も7月21日、22日に福島市で開催される第82回日本産業衛生学会東北地方会において、7月22日午後に産業医協議会を実施します。アルコール依存、ニコチン依存を始めとし、ゲーム依存など様々なアディクションの対策に精通し、近年はEスポーツのチームドクターとしても高名な岡山大学教授の神田秀幸先生をお招きし、「産業保健の視点からみたアディクションの課題と予防」として講演を頂きます。一昨年度、昨年度は新型コロナウイルス感染症流行の中、現地の参加は決して多くない状況でした。今年度もハイブリッド開催を予定しておりますが、できるだけ多くの方と交流できること、楽しみにしております。

産業保健看護部会**産業保健看護部会報告**

東北地方会 産業保健看護部会 幹事
NTT 東日本 総務人事部医療・健康管理センタ
村越亜弥子
山形大学大学院医学系研究科看護学専攻地域看護学分野
森健 祐子

「産業保健看護部会」と名称と定義が変更となり、もうすぐ1年となりますが、皆様はもう慣れたでしょうか。経営や集団支援の視点が追加された新しい定義を確認するたびに、今の活動にピッタリと合う気がします。日々の業務は劇的に変わる訳ではありませんが、長い時間をかけて、時代の変化を受けてゆっくりと着実に、私たち産業保健の活動は変化していると実感します。新部会報「つなぐ」はお手元に届きましたか？初回だけはカラー版で部会員お一人お一人に郵送しておりますのでご確認頂ければと思います。

また部会として産業保健看護学の新たな教科書を編纂、発刊に至りました。こちらは5月の学会から販売することが決まりました。学会期間中やまとめた購入は1割引きで購入できるそうなので、皆様是非お手に取って頂ければ幸いです。

さて、来たる2023年7月21日（金）～22日（土）には第82回日本産業衛生学会東北地方会が、福島で開催されます。産業保健看護部会としての研修会も開催予定です。とても素敵な講師の先生をお招き予定です。

★第30回産業保健看護のつどい 7月22日（土）15:00～16:30

- ・「誰もが働きやすい職場の実現に向けて ～LGBTについての理解を深める～」

講師：梅宮れいか先生（福島学院大学 教授）

- ・産業保健看護部会 東北地方会総会

詳細は学会HPの東北地方会に掲載されますのでご確認ください。今年はそろそろ現地参加してみませんか。皆様にお会いできるのを楽しみにしております。



産業衛生技術部会**令和5年度産業衛生技術部会活動計画等**

東北地方会幹事

河合 直樹

■東北地方会（2023年7月22日：福島）

◎情報交換会

当部会では、懇親と交流の場を提供することを目的に、毎回、開催地で活躍しておられる産業衛生技術関係者から話題提供していただき、和気あいあいとした雰囲気、情報交換を行っております。今回は、DNPテクノパック 近嵐修一氏から、「喫煙開始予防教育」をテーマに話題提供いただく予定です。多数の参加をお待ちしております。

■第96回日本産業衛生学会（2023年5月10日～12日：宇都宮）

◎産業衛生技術部会関連の主なプログラム

【シンポジウム4】5月10日（水）13:30～15:30【第3会場】

「化学物質の自律的管理における濃度基準の設定とアセスメントの実施」

【シンポジウム11】5月11日（木）15:00～17:00【第3会場】

「社内外の産業衛生技術専門家の自律的な化学物質管理」

～オキュペイショナルハイジニストから見た実務/指導/助言・課題・展望～

【シンポジウム20】5月12日（金）9:00～11:00【第5会場】

「化学物質の自律管理へ向けて、それぞれの産業保健スタッフの果たすべき役割」

【産業衛生技術部会フォーラム】5月12日（金）15:30～17:30【第3会場】

「これからの騒音障害予防対策について」

■第33回日本産業衛生学会全国協議会（2023年10月27～29日：甲府）

<うれしいお知らせ>

当部会のメンバーである中村 剛 氏（東北大学医学研究科研究安全管理室）が令和5年度産業衛生技術部会奨励賞を受賞されました。おめでとうございます。今後のご活躍を期待します。



産業歯科保健部会**産業歯科保健部会報告**

産業歯科保健部会幹事

井川 資英

新たに産業歯科保健部会に入会されました、澤田智史先生のご挨拶を掲載させていただきます。

ご挨拶

皆様、はじめまして。歯科医師の澤田智史と申します。

現在、私は岩手医科大学医療工学講座の准教授として歯科理工学の教育等を担当させていただいております。2019年に産業歯科医研修会と産業医学講習会を受講してから、日本産業衛生学会に入会いたしました。これまで顕著な活動実績はありませんが、昨夏に産業歯科保健部会幹事をされている井川資英先生から連絡をいただき、月に1回程度、ZOOMによる研修会に参加させていただいて勉強しております。



澤田智史先生

また、私の研究室の隣に産業医部会の田鎖愛理先生がおり、情報交換なども行っております。

私の専門は元々、歯科補綴学で日本補綴歯科学会の指導医・専門医として診療に従事し、特に、金属アレルギー患者へのメタルフリー治療を中心に行ってきました。岩手県に来る前は5年間、ドイツに留学しており、ジルコニアクラウンをテーマに学位を取得しております。ジルコニアの加工は歯科へのデジタル技術の導入・応用により、CAD/CAMを利用することで近年、可能となりました。加えて、3Dプリンタを用いた作業も増えてきております。新しい技術の導入は歯科技工所での働き方にも変化がでてきております。このような時代の変化で職場環境の改善や個人の健康の保持増進につながることを期待しております。しかし、就業歯科技工士数は横ばいであり、歯科技工士養成施設への入学者数の減少している歯科技工界で、私にできることから活動を進めたいと考えております。

また、令和4年度から東北地方会の代議員に選出いただきましたので、今後は諸先生方と交流を深めていくことでより一層、学会の発展に貢献できればと考えております。今後とも何卒よろしくお願ひ致します。

宜しくお願ひします！

今年度から、新たに東北地方会代議員となられました4名の先生方にご挨拶を頂戴しました。東北地方会発展のため御尽力下さいますよう、どうぞ宜しくお願ひ申しあげます。

澤田智史先生（岩手医科大学医療工学講座）

岩手医科大学医療工学講座の澤田智史と申します。この度、令和4年度から日本産業衛生学会東北地方会の代議員就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。学会では産業歯科保険部会の所属しております。微力ではございますが、これまでの歯科医師としての臨床・研究・教育の経験を活かして学会の発展に貢献できればと考えております。今後とも何卒よろしくお願ひ致します。

丹野高三先生（岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座）

このたび日本産業衛生学会東北地方会代議員を拝命しました、岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座の丹野高三と申します。私はこれまで地域住民を対象として脳卒中や要介護をターゲットとしたコホート研究に従事してまいりました。嘱託産業医として岩手県内の事業所で勤務しておりますが、体系的に産業衛生を学んだことはなく、今回、諸先生方のご指導を仰ぎながら活動できる機会を得ることができ大変光栄に存じます。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

森 弘毅先生（東日本旅客鉄道株式会社仙台健康推進センター）

はじめまして。JR 東日本の森と申します。東日本大震災の直前に産業保健の領域に足を踏み入れました。震災後も COVID-19 パンデミックやウクライナ紛争などにより社会の変化は留まることなく、この領域においても新たな課題が次々と生まれております。困難な時代である一方で、新しい社会を築く絶好の機会でもあります。そのような時期であるがゆえの責任の重さをひしと感じております。よろしくお願ひいたします。

近嵐修一先生（株DNP テクノパック）

東北地方会会員の皆様におかれましては、時下ますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。この度はこの様に皆様にご挨拶させていただく機会を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの代議員選挙により代議員に選出されました。微力非才の身ではございますが、誠心誠意、学会、地方会の発展のため職務に尽力させていただく所存でございます。皆様におかれましては一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

産業保健看護とうほく

第42号 2023. 5

発行者: 日本産業衛生学会東北地方会
産業保健看護部会
連絡先: 〒984-8519
宮城県仙台市若林区五橋 3-2-1
NTT 東日本 健康管理センタ 村越亜弥子
発行責任者: 村越亜弥子・森鍵祐子

部会名の変更に伴い、「産業保健看護とうほく」に変わりました。引き続きよろしくお願いたします。

◎ 第29回産業看護のつどいのご案内

2023年7月21日(金)~22日(土)に、第82回日本産業衛生学会東北地方会が福島県福島市で開催されます。第29回産業保健看護のつどいは、性同一性障害の治療と研究の第一人者であり、LGBT への理解を広めるための講演活動をされている福島学院大学心理学研究科臨床心理学専攻 教授 梅宮れいか先生にご講演いただきます。

多数のご参加、お待ちしております。

【日時】2023年7月22日(土) 15:10~16:40

【場所】コラッセ福島

【講演】「誰もが働きやすい職場の実現に向けて~LGBT についての理解を深める~」

【講師】梅宮 れいか 先生(福島学院大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻 教授)



◎ 各県の産業看護部会活動報告 (2023年1月時点)

[青森] 県看護協会主催の4職能合同研修会『連携強化に向けた研修会』が2022年11月開催、八戸西健診プラザから産業保健活動の報告がなされた。看護協会福井会長もご参加されており、激励と共に「産業保健分野の看護職の位置づけを今後明確にしていきたい」との話もお聞きすることができた。産業保健総合支援センターの研修会は滞りなく実施されている。今期の産業看護者研修会は(株)キャンサースキャン竹林先生をお招きし、3月13日に「産業保健とナッジ」のご講演予定である。

[秋田] *秋田県産業看護職の会のメンバーに向けて産業保健に係るメール配信付き-2回継続中
*産業看護職の会限定にて産業保健センターにて集合研修(対面もしくはweb)を計画
*地域・職域連携の推進のため、HPやメルマガ、郵送などで発信情報を双方向で依頼し、看護職連携に向けて、今後は行政の看護職を交えて研修を行う
*予算の大幅削減にともない、産保センターの活動が制限された

[山形] 山形産業保健総合支援センターで以下が開催された
*森鍵教授を講師に迎え産業看護職事例検討会 *ギャンブル、アルコール依存症研修会
*両立支援、事例検会・交流会
毎月の産業メンタル研修会ではコーチングやマインドフルネスなど様々な分野の研修が開催された

[岩手] *産保センターの認知度向上および事業の周知啓発活動として10名以上の従業員がいる約4000カ所の事業所にDMを送りアンケートを実施
*「岩手県地域両立支援の取り組み」「メンタルヘルス対策」に関して実態調査158件の回答あり
*集合形式とweb配信を同時に行うハイブリット方式にて研修を実施
はたらく女性の健康力UP~女性の活躍を支える職場づくり~
両立支援コーディネーター基礎研修受講者や実施者を対象にミニ講座や事例紹介などの交流会

[宮城] *宮城産業看護職MLにて学会・セミナー情報など定期的(月1-2回程度)に配信継続中
*10/11、1/11 仙台産業医学推進協議会・為になる産業保健勉強会開催
「産業医面談記録に求められること・コロナ、インフルエンザの最新情報」
「職域のCOVID19後遺症について考える」
*8/31 宮城産業看護職オンライン交流会開催(参加者7名)
「50人未満の事業所への活動や支援・一次予防の取り組み・会社と相談内容共有しているか
個人情報取り扱い・看護職の体制や看護職間での熱量の差等をディスカッション」
*毎月第3金曜日対面にて「勤労者の健康に関するネットワーク」開催 対象:産業保健職

[福島] 会員数1名増え13名でインテル(福島産業看護研究会)自主的勉強会を継続実施中
1月活動計画作成・3月【教育】禁煙指導・5月【実務】社内教育やイベントの実施
7月【フィジカル】労災・9月【実務】特定特殊健康診断・11月【メンタルヘルス】
*東北村田製作所専属産業医 松本理先生を講師に「女性のライフステージとがん検診」をテーマに
福島産業看護協議会を開催し、19名の参加があった。



【編集後記】

2020年より運営委員になりました。コロナ禍中にオンラインを通してつながった全国のみなさまと、直接お会いして交流できる機会が増えており、大変嬉しく感じているこの頃です。いただいたご縁とつながりを大切にしながら、宮城・東北の産業保健に活かし・つなぎ・貢献できるよう、これからも積極的に活動していきます。引き続きよろしく願い申し上げます。(宮城:後藤豊美)

物故会員報告

本学会会員であり、長年にわたって(社)日本労働安全衛生コンサルタント宮城支部理事、宮城産業保健推進センター相談員等を歴任、産業保健分野でご活躍されました小松昭文先生がご逝去されました。ここに、先生の御略歴をご紹介させていただき、本学会への御尽力に感謝申し上げますと共にご冥福をお祈りしたいと存じます。

小松昭文(こまつ あきぶみ)先生 (医学博士)
(令和4年12月25日 ご逝去 享年95歳)

(御略歴)

昭和24年3月	東北大学附属医学専門部卒業
昭和25年8月～昭和29年3月	宮城県愛宕病院勤務
昭和30年7月～昭和31年6月	東北大学医学部附属病院助手任官
昭和31年7月～昭和59年2月	仙台鉄道病院 (皮膚・泌尿器科：医員・副医長、皮膚科：医長・主任医長)
昭和59年3月	仙台鉄道病院郡山分室長就任
昭和60年3月	仙台鉄道病院保健管理部主任医長就任(労働衛生科)
昭和63年2月	仙台鉄道病院定年退職
昭和63年4月～	(財)宮城県労働衛生医学協会(現一般社団法人杜の都産業保健会)勤務
平成元年6月～平成19年6月19日	(財)宮城県労働衛生医学協会理事
平成7年4月～平成31年3月31日	(財)宮城県労働衛生医学協会健診センター(副所長、医局長)
平成31年4月～令和4年12月25日	(一財)杜の都産業保健会非常勤医
令和4年12月25日	ご逝去



編集後記

「みちのく」第 69 号をお届けします。新型コロナウイルス感染症が第 5 類感染症となり、やっと以前の社会生活が戻ってきた様な、少し、ほっとする昨今です。(未だ油断は出来ませんが・・・)

今回は、7月に福島市で開催されます第 82 回東北地方会学会のご案内と新たに代議員となられた 4 名の先生方のご挨拶などを掲載させていただきました。原稿依頼に対し、快く執筆をお引き受け下さいました皆様に感謝申し上げます。

先週、宇都宮市で開催されました第 96 回日本産業衛生学会総会でもご紹介がありましたように、2025 年開催の第 98 回総会は、我々東北地方会が主体となって開催することになりました。2019 年 9 月に開催した第 29 回全国協議会以来の大規模な学会の開催となりますが、東北地方会会員の皆様のお力添えをいただき、記憶に残る総会が開催できますよう準備を進めて参りたいと思います。

また、今後、「みちのく」編集委員会の立ち上げなど、地方会活動に多くの会員が参加していただける場を増やして地方会活動の活性化や会員相互の連携強化を計りたいと思っております。会員の皆様からの新たな活動の提案なども積極的に採用させていただきますので、事務局にご意見をお寄せください。どうぞ宜しく御願ひ申し上げます。皆様と 7 月福島市でお会いするのを楽しみにしております。(T.I.)